

令和 5 年度

大 掛 浄 水 場 取 水 施 設 整 備 工 事

[第 I 期工事]

(右岸側河川整備及び取水施設整備)

数 量 計 算 書

右岸側河川整備及び取水施設整備 数量総括表

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	設計数量	備 考
準備工					
	伐木除根工	伐木(粗) 除根・機械集積・積込み	m ²	400	380
	伐木 運搬工	DT 運搬 機械積込 伐木・除根作業有り	m ²	400	380
	処理費	木材(幹部+根部)	m ³	1	0.5
構造物撤去工					
	コンクリート取壊し	機械施工 無筋構造物	m ³	5	4.6
	Con殻 運搬工	機械積込 DT運搬 L= km Con殻(無筋)	m ³	5	4.6
	Con殻 処分工	Con殻(無筋)	t	11	10.9
土工					
	掘削工	表土すき取り(粘性土)	m ³	22	22.3
	掘削工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	360	360.6 仮締切工へ流用
	掘削工	岩塊・玉石混り土	m ³	150	154.6
	掘削工	軟岩Ⅱ	m ³	35	35.0 仮締切工へ流用
	積込工	軟岩Ⅱ	m ³	35	35.0
	残土運搬工	機械積込 DT運搬 L= km 土砂・岩塊・玉石混り土	m ³	180	176.9
	残土運搬工	機械積込 DT運搬 L= km 軟岩Ⅱ	m ³	—	0.0 仮締切工へ流用

右岸側河川整備及び取水施設整備 数量総括表

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	設計数量	備 考
	残土処理工	表土すき取り(粘性土)	m ³	22	22.3
	残土処理工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	—	0.0 仮締切工へ流用
	残土処理工	岩塊・玉石混り土	m ³	150	154.6
	残土処理工	軟岩Ⅱ	m ³	—	0.0 仮締切工へ流用
作業土工					
	床 掘	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	3	3.3 仮締切工へ流用
	床 掘	軟岩Ⅱ	m ³	20	20.3 仮締切工へ流用
	積込工	軟岩Ⅱ	m ³	20	20.3
仮締切工					
	仮締切 土工				
	設置時				
	掘削工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	2	2.0
	盛 土	発生土 敷均し・締固め 施工幅 2.5m以上 4.0m未満	m ³	63	62.8
	不足土(搬入土)	購入土(ぼぐし) 土砂(砂質土・礫質土)	m ³	290	288.4
	撤去時				
	掘削工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	63	62.8
	盛 土	発生土 敷均し・締固め 施工幅 2.5m未満	m ³	2	2.0

右岸側河川整備及び取水施設整備 数量総括表

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	設計数量	備 考
	残土運搬工	機械積込 DT運搬 L= km 土砂	m ³	670	670.6
	残土処理工	土砂	m ³	670	670.6
	仮締切工				
	耐候性大型土のう	φ 1100×1100 短期仮設(1年)対応 製作・据付・撤去(発生土使用)	袋	732	732
	遮水シート設置・撤去	軟質塩化ビニルシート t=1.0mm	m ²	305	305
	碎石舗装	人力 振動ローラ転圧 C-40 t=10cm	m ²	69	68.8
護岸工					
	環境保全型ブロック	N=1:0.5 H=5.50m以下(切土部) 控え500 河川用	m ²	132	132.0 胴込材・吸出し防止材含む
	裏込碎石	RC-40	m ³	34	34.0
	埋戻コンクリート	無筋構造物 (早強)21-8-40H	m ³	3.6	3.56
	同上 型枠	一般型枠 無筋構造物	m ²	5	5.48
	天端コンクリート	小型構造物 18-8-40BB	m ³	10	10.12
	同上 型枠	一般型枠 小型構造物	m ²	23	23.17
	1型端止工	18-8-40BB	箇所	1	1.0
	塩ビ管	取水ポンプ室棟 河川放流管 VU φ 100 HPPE φ 75用 箱抜き	m	1.0	1.00

右岸側河川整備及び取水施設整備 数量総括表

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	設計数量	備 考
護床工					
	護床ブロック	平型(二次製品) 1T型(1500×1500×500t)	個	28	
	連結用金具	φ 16	個	45	護床ブロック 10個当り 設置数 16.1 個
取水施設 配管付帯工					
	河川横断部 配管埋戻				
	均しコンクリート	無筋構造物 (早強)21-8-40H	m ³	0.9	0.90
	切込砕石	C-40	m ³	6	6.37
	吸出防止マット	W=2.50m t=10mm	m ²	16	15.75
	防護コンクリート	右岸側護岸下越し部			
	コンクリート	小型構造物 (早強)21-8-40H	m ³	1.9	1.86
	型 枠	一般型枠 小型構造物	m ²	1	0.92
	砕石埋戻	右岸側護岸背面部			
	切込砕石	C-40	m ³	3	3.30
	河川内 配管工	圧搾空気管 SUS304 20S 50A×2条 ポンプ吸込管 SUS304 20S 80A×2条	式	—	機械工事(別途計上)

準備工 集計表

[illegible]

準備工

数 量 計 算 書

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式
伐木除根工	伐木(粗) 除根・機械集積・積込み	m ²	380	伐木(粗) :10本/100m ² 未満 平面図より 380 = 380
伐木除根工	伐木(中) 除根・機械集積・積込み	m ²	—	伐木(中) :10本/100m ² 以上 50本/100m ² 未満 平面図より =
伐木 運搬工	DT 運搬 機械積込 伐木・除根作業有り	m ²	380	伐木(粗) 380 + 伐木(中) = 380
処理費	木材(幹部)	m ³	0.4	伐木(粗) $\frac{2}{0.10} \times \pi \times 1/4 \times 3.00 \times \text{本数}$ = 0.35
				伐木(中) $\frac{2}{0.25} \times \pi \times 1/4 \times 10.00 \times \text{本数}$ =
				計 = 0.35
処理費	木材(根部)	m ³	0.2	伐木(粗) $\frac{2}{0.10} \times \pi \times 1/4 \times 1.50 \times \text{本数}$ = 0.18
				伐木(中) $\frac{2}{0.25} \times \pi \times 1/4 \times 3.00 \times \text{本数}$ =
				計 = 0.18
処理費	木材(幹部+根部)	m ³	0.5	木材(幹部) 0.35 + 木材(根部) 0.18 = 0.53
				重量算出根拠 伐木(粗) 本 数 15 本 (25.0 m2 に1本 と想定する。)
				樹 高 3.00 m (想定) 根 部 1.50 m (想定)
				平均直径 0.10 m (想定) 単位重量 500 kg (木材)
				伐木(中) 本 数 本 (9.0 m2 に1本 と想定する。)
				樹 高 10.00 m (想定) 根 部 3.00 m (想定)
				平均直径 0.25 m (想定) 単位重量 500 kg (木材)

構造物撤去工 集計表

[illegible]

構造物撤去工

数量計算書

1.0式 当り

[illegible]

ブロック積擁壁

算書

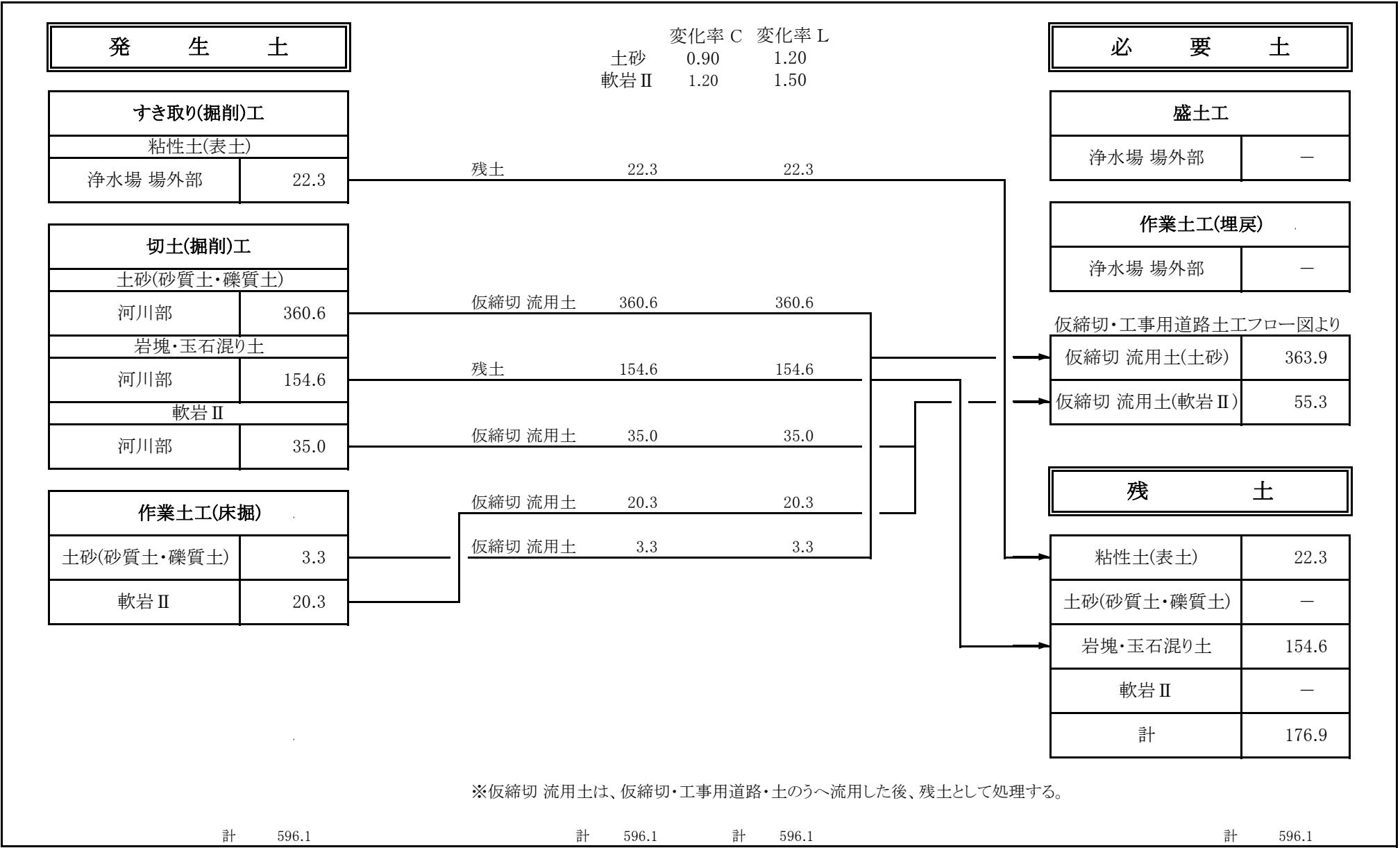
測 点	距 離	ブロック積擁壁②			摘 要
		断面積	平 均	体 積	
	-	H×0.35×1.118+0.03 0.030	基礎部 -	-	H 0.000
	2.20	H×0.35×1.118+0.03 1.600	基礎部 0.82	1.80	H 4.000
	0.27	H×0.35×1.118+0.03 1.950	基礎部 1.78	0.48	H-0.10 4.900
	0.83	H×0.35×1.118+0.03 1.950	基礎部 1.95	1.62	H-0.10 4.900
計	3.30			m3 3.90	

土工 集計表

種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
土工				
掘削工	表土すき取り(粘性土)	m ³	22.3	
掘削工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	360.6	仮締切り・工事用道路流用
掘削工	岩塊・玉石混り土	m ³	154.6	
掘削工	軟岩Ⅱ	m ³	35.0	仮締切り・工事用道路流用
積込工	軟岩Ⅱ	m ³	35.0	
残土運搬工	機械積込 DT運搬 L= km 土砂・岩塊・玉石混り土	m ³	176.9	表土すき取り(粘性土) 岩塊・玉石混り土 22.3 + 154.6 = 176.9
残土運搬工	機械積込 DT運搬 L= km 軟岩Ⅱ	m ³	—	仮締切り・工事用道路流用
残土処理工	表土すき取り(粘性土)	m ³	22.3	
残土処理工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	—	仮締切り・工事用道路流用
残土処理工	岩塊・玉石混り土	m ³	154.6	
残土処理工	軟岩Ⅱ	m ³	—	仮締切り・工事用道路流用
作業土工				
床 掘	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	3.3	仮締切り・工事用道路流用
床 掘	軟岩Ⅱ	m ³	20.3	仮締切り・工事用道路流用
積込工	軟岩Ⅱ	m ³	20.3	

土工フロー図

単位:m3



土 工

河川部

数 量 計 算 書

測 点	距 離	切土(C1)土砂			摘 要
		断面積	平 均	体 積	
切土(C1)土砂の70%を砂質土・礫質土、30%を岩塊・玉石混り土と想定する。					
仮設計画横断図(1)(2)より					
③-③	-	0	-	-	
	16.96	9.8	4.90	83.1	
	4.73	9.8	9.80	46.4	
④-④	4.31	9.8	9.80	42.2	
④-④+5.0	5.00	11.3	10.55	52.8	
	1.64	11.3	11.30	18.5	
④-④+12.0	5.36	12.5	11.90	63.8	
④-④+23.0	11.00	13.3	12.90	141.9	
	10.00	0	6.65	66.5	
計	59.00			m3 515.2	
砂質土・礫質土		515.2	× 70% =	m3 360.6	C1の70%計上
岩塊・玉石混り土		515.2	× 30% =	m3 154.6	C1の30%計上

測 点	距 離	切土(C2)軟岩Ⅱ			摘 要
		断面積	平 均	体 積	
仮設計画横断図(1)(2)より					
	-	3.2	-	-	
④-④	4.31	3.2	3.20	13.8	
④-④+5.0	5.00	3.2	3.20	16.0	
	1.64	3.2	3.20	5.2	
計	10.95			m3 35.0	

土工

右岸 浄水場 場外部

数量計算書

[illegible]

作業土工集計表

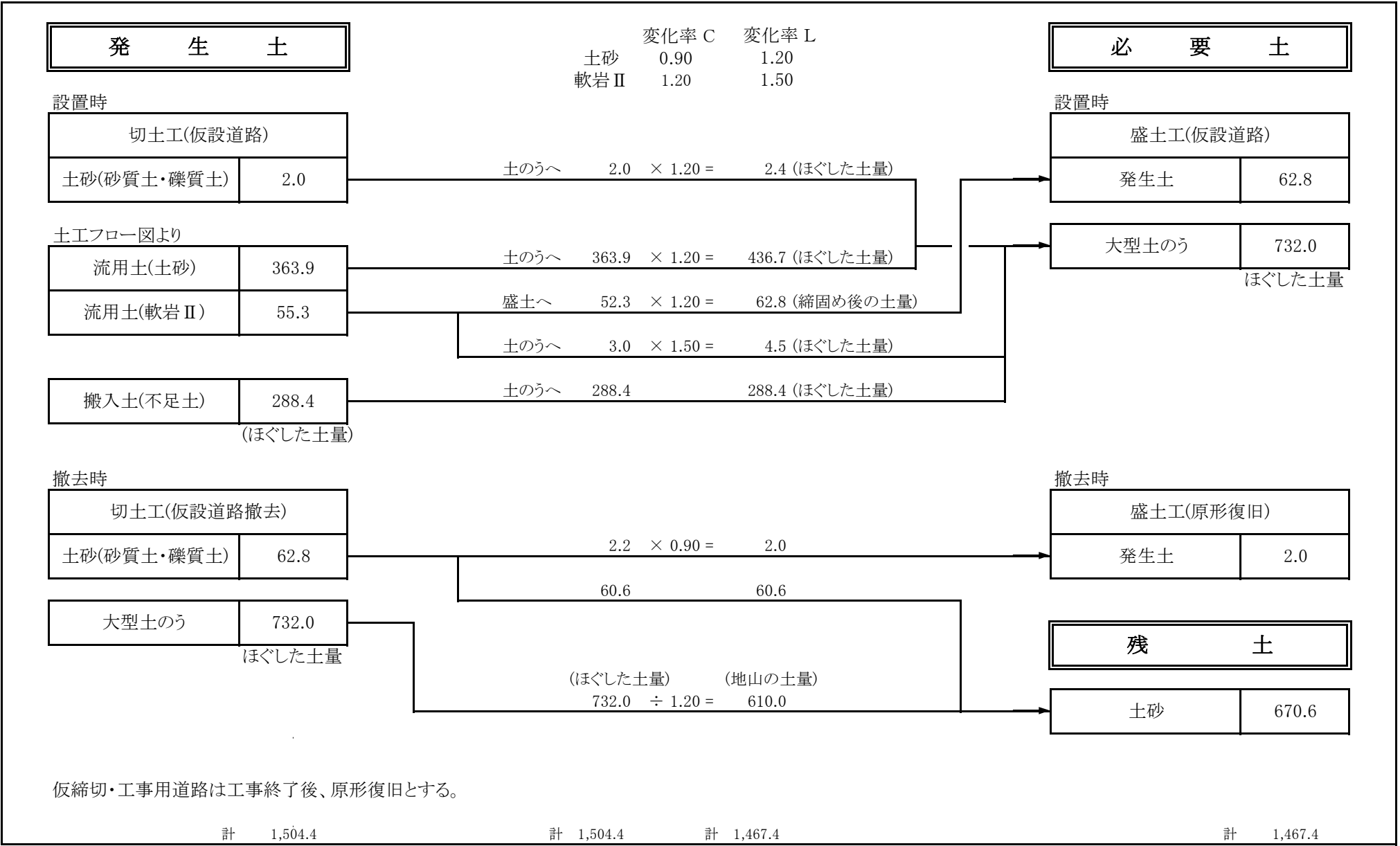
[illegible]

仮締切工 集計表

種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
仮締切 土工				
設置時				
掘削工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	2.0	
盛 土	発生土 敷均し・締固め 施工幅 2.5m以上 4.0m未満	m ³	62.8	
不足土(搬入土)	購入土(ほぐし) 土砂(砂質土・礫質土)	m ³	288.4	大型土のう 詰土 含む
撤去時				
掘削工	土砂(砂質土・礫質土)	m ³	62.8	
盛 土	発生土 敷均し・締固め 施工幅 2.5m未満	m ³	2.0	
残土運搬工	機械積込 DT運搬 L= km 土砂	m ³	670.6	大型土のう 詰土 含む
残土処理工	土砂	m ³	670.6	
仮締切工				
耐候性大型土のう	φ 1100×1100 短期仮設(1年)対応 製作・据付・撤去(発生土使用)	袋	732	
遮水シート設置・撤去	軟質塩化ビニルシート t=1.0mm	m ²	305	
碎石舗装	人力 振動ローラ転圧 C-40 t=10cm	m ²	68.8	

仮締切・工事用道路土工フロー図

単位:m3



土 工 仮締切・工事用道路(右岸側施工時)

数量計算書

測 点	距 離	切土(C1)土砂			摘 要
		断面積	平 均	体 積	
	—				
	4.6				
C-C	2.1				
	4.0				
	5.6	0	—	—	
D-D	1.7	0.6	0.30	0.5	
	5.0	0	0.30	1.5	
計	23.0			m3 2.0	

測 点	距 離	盛土(B)			摘 要
		断面積	平 均	体 積	
	－	0	－	－	
	4.6	5.6	2.80	12.9	C-Cと同断
C-C	2.1	5.6	5.60	11.8	
	4.0	5.6	5.60	22.4	C-Cと同断
	5.6	0	2.80	15.7	
D-D	1.7				
	5.0				
計	23.0			m3 62.8	

仮締切工

数量計算書

1.0式 当り

[illegible]

護岸工 集計表

[illegible]

護岸工

作業土工(右岸側)

数量計算書

[illegible]

護岸工 環境保全型ブロック 右岸(河川用 控え500) N=1:0.5 H=5.5m以下

数 量 計 算 書

測 点	距 離	ブロック			天端コンクリート			裏込砕石(切土部)						摘 要
		SL	平 均	面 積	前面直高	平 均	面 積	断 面	平 均	体 積	根入れ	天端Con背面高		
	—	5.903	—	—	斜長 = 0.403 0.360	—	—	(H-根入-天端Con背面高)×0.30×1.118 1.41	—	—	0.500	0.584		総高 H = 5.280
④-④	0.750	5.903	5.903	4.4	斜長 = 0.403 0.360	0.360	0.27	(H-根入-天端Con背面高)×0.30×1.118 1.41	1.410	1.1	0.500	0.584		H = 5.280
④-④ +5.0	5.000	5.937	5.920	29.6	斜長 = 0.437 0.391	0.376	1.88	(H-根入-天端Con背面高)×0.30×1.118 1.41	1.410	7.1	0.500	0.615		H = 5.310
④-④ +12.0	7.000	5.970	5.954	41.7	斜長 = 0.470 0.420	0.406	2.84	(H-根入-天端Con背面高)×0.30×1.118 1.41	1.410	9.9	0.500	0.644		H = 5.340
④-④ +23.0	11.000	5.713	5.842	64.3	斜長 = 0.213 0.191	0.306	3.37	(H-根入-天端Con背面高)×0.30×1.118 1.41	1.410	15.5	0.500	0.415		H = 5.110
	0.250	5.702	5.708	1.4	斜長 = 0.202 0.181	0.186	0.05	(H-根入-天端Con背面高)×0.30×1.118 1.41	1.410	0.4	0.500	0.405		H = 5.100
天端コンクリート控除					24.000 × 0.350 × 1.118 = -9.4									
計	24.000	m		132.0	m2		8.41	m2		34.0	m3			
					平均前面直高 = 8.41 ÷ 24.000 = 0.350									

護岸工

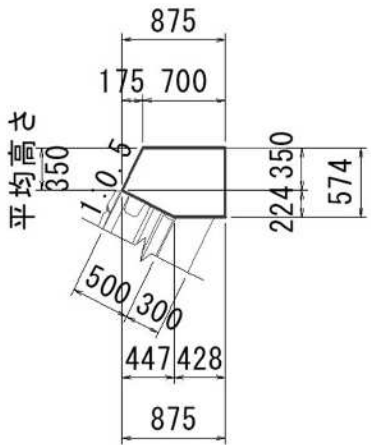
環境保全型ブロック(右岸 河川用)

数量計算書

10.0 m2 当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
環境保全型ブロック	ひととせ 控え 500型	m ²	10.00	参考重量 0.994 t/m2 = 10.000	
				10.00/(2.00×0.50)= 10.0 個/10m2	
胴込材	割栗石 150～50mm	m ³	2.33	メーカーカタログより = 2.330	
吸出し防止材	t=10mm	m ²	10.00	= 10.000	
土 工					
床 掘	機械 土砂	m ³	—		
基面整正	土砂	m ²	—		
埋 戻	機械	m ³	—		

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
コンクリート	無筋構造物 (早強)21-8-40H	m ³	3.56	一般部 (0.10+0.45)×1/2×0.50×16.91 = 2.325	<div>右岸部</div> <div>一般部 L = 16.91 m</div> <div>護床ブロック部 L = 10.95 m</div> <div><div>一般部</div><div><div>コンクリート (早強) 21-8-25H</div><div>450</div><div>500</div><div>1:0.2</div><div>1:0.5</div><div>100</div></div></div> <div><div>護床ブロック部</div><div><div>コンクリート (早強) 21-8-25H</div><div>350</div><div>500</div><div>1:0.5</div><div>100</div><div>護床ブロック</div></div></div>
				護床ブロック部 (0.10+0.35)×1/2×0.50×10.95 = 1.232	
				計 = 3.557	
型 枠	一般型枠 無筋構造物	m ²	5.48	護床ブロック部 0.50×10.95 = 5.475	
土 工					
床 掘	機械 土砂	m ³	—		
基面整正	土砂	m ²	—		
埋 戻	機械	m ³	—		

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
コンクリート	小型構造物 18-8-40BB	m ³	10.12	{(0.428+0.875)×1/2×0.224+(0.875+0.700)×	<div>L = 24.00 m 平均前面高さ = 0.350 m</div> 
				1/2×0.350}×24.00 = 10.117	
型 枠	一般型枠 小型構造物	m ²	23.17	(0.350×1.118+0.574)×24.00 = 23.167	
土 工					
床 掘	機械 土砂	m ³	—		
基面整正	土砂	m ²	—		
埋 戻	機械	m ³	—		

1型端止工(右岸 河川用)

数量計算書

1.0 箇所 当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
コンクリート	小型構造物 18-8-40BB	m ³	1.59	{0.559×0.224×1/2+0.559×0.500+1.118×3.764+	<div>N = 1.0 箇所</div> <div>※ h1=土砂部 h2=岩着部は現地の土質状況に 合わせ施工する事。</div>
				(1.118+0.700)×1/2×0.836}×0.300	
				= 1.593	
型 枠	一般型枠 小型構造物	m ²	13.84	{0.559×0.224×1/2+0.559×0.500+1.118×3.764+	
				(1.118+0.700)×1/2×0.836}×2 +	
				(5.702+4.208+0.836)×0.300 = 13.844	
土 工					
床 掘	機械 土砂	m ³	—		
基面整正	土砂	m ²	—		
埋 戻	機械	m ³	—		

護床工 集計表

[illegible]

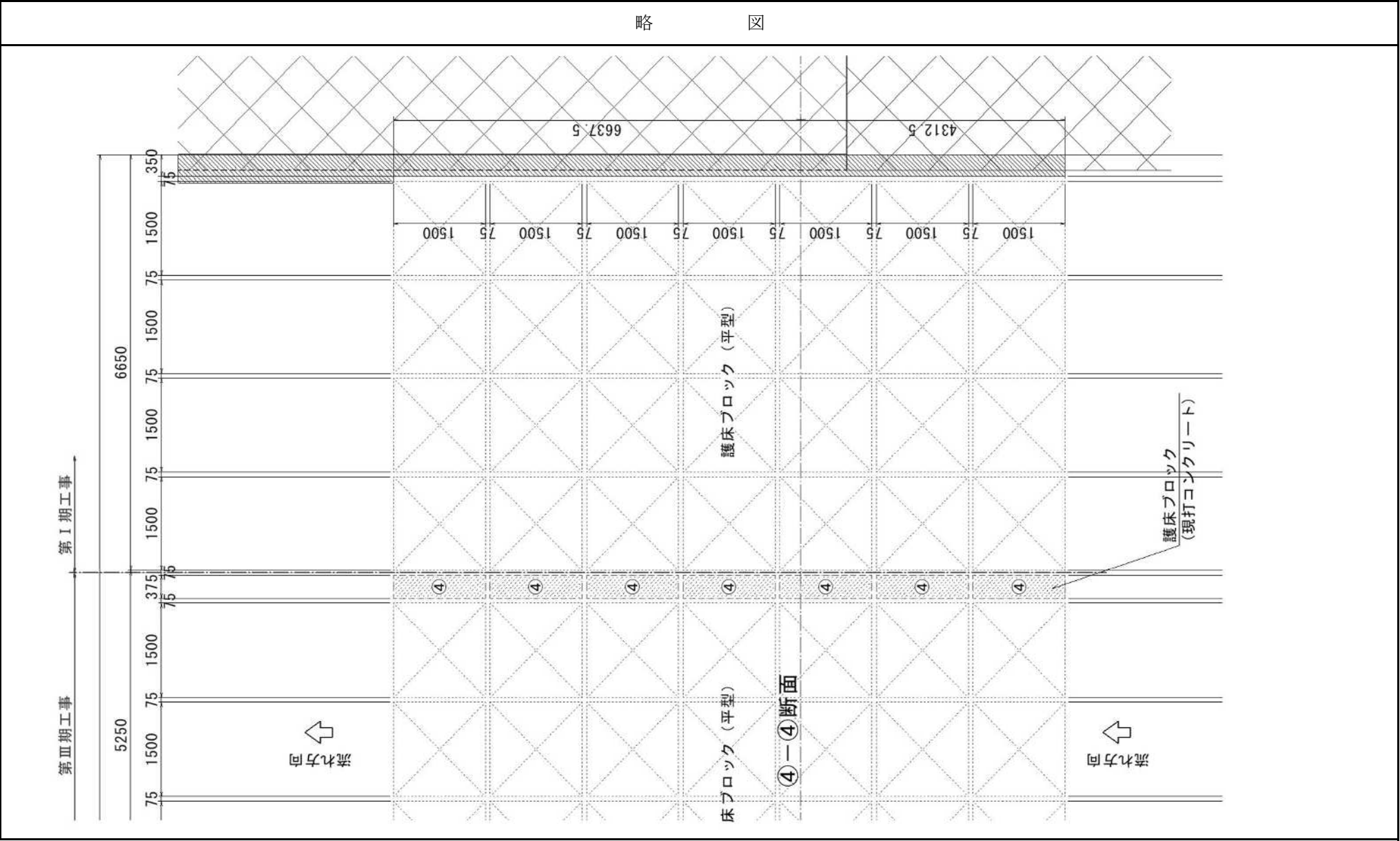
護床工

延長調書

護床ブロック(平型)			連結用金具					
位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要
1500×1500×500t			1500×1500×500t用	45	個(図側による)			
管横断部 右岸側	28	7×4						
			護床ブロック 10個当りの個数(個)					
				45個÷28×10	16.1			
計	28	個	計	45	個	計		個

位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要	位 置	数 量	摘 要
計		個	計		個	計		個

略 図



取水施設 付帯工 集計表

[illegible]

取水施設付帯工 河川横断部 配管埋戻工 数量計算書

1.0 式 当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
均しコンクリート	無筋構造物 (早強)21-8-40H	m ³	0.90	$(1.40+1.44) \times 1/2 \times 0.10 \times 6.30 = 0.895$	<p>仮設計画横断図(1)より 施工延長 L= 6.30 m</p>
切込碎石	C-40	m ³	6.37	$\{(1.44+1.702) \times 1/2 \times 0.655 - 0.09^2 \times \pi / 4 \times 2 - 0.06^2 \times \pi / 4 \times 2\} \times 6.30 = 6.367$	
吸出防止マット	W=2.50m t=10mm	m ²	15.75	$2.50 \times 6.30 = 15.750$	
作業土工					
床 掘	機械 軟岩Ⅱ	m ³	7.4	$(1.40+1.702) \times 1/2 \times 0.755 \times 6.30 = 7.377$	
基面整正		m ²	—		
埋 戻		m ³	—		
残土運搬工	BH積込 DT運搬 L= km 軟岩	m ³	7.4	床掘 = 7.377	
残土処理工	軟岩	m ³	7.4	同上 = 7.377	

取水施設付帯工 防護コンクリート 右岸側護岸下越し部 数量計算書

1.0 式 当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
コンクリート	小型構造物 (早強)21-8-40H	m ³	1.86	$0.655 \times 0.15 \times 1.40 = 0.138$	
				$(0.655+0.431) \times 1/2 \times 0.447 \times 1.40 = 0.340$	
				$(0.894+0.679) \times 1/2 \times 0.431 \times 1.40 = 0.475$	
				$0.894 \times 0.724 \times 1.40 = 0.906$	
				計 = 1.859	
型 枠	一般型枠 小型構造物	m ²	0.92	前面 $0.655 \times 1.40 = 0.917$	
作業土工					
床 掘	機械 軟岩Ⅱ	m ³	1.9	上記 コンクリート量 = 1.859	
基面整正		m ²	—		
埋 戻		m ³	—		
残土運搬工	BH積込 DT運搬 L= km 軟岩	m ³	1.9	床掘 = 1.859	
残土処理工	軟岩	m ³	1.9	同上 = 1.859	

取水施設付帯工 砕石埋戻 右岸側護岸背面部 数量計算書

1.0 式 当り

名 称	規格・寸法	単位	数 量	計 算 式	略 図
切込砕石	C-40	m ³	3.30	$(0.500 \times 1.400 - 0.09^2 \times \pi / 4 \times 2 -$	
				$0.06^2 \times \pi / 4 \times 2) \times 4.330 \times 1.118 = 3.300$	
作業土工					
床 掘	機械 土砂	m ³	3.3	上記 切込砕石量 = 3.300	
基面整正		m ²	—		
埋 戻		m ³	—		
残土運搬工	BH積込 DT運搬 L= km 土砂	m ³	3.3	床掘 = 3.300	
残土処理工	土砂	m ³	3.3	同上 = 3.300	

広島県三次市大掛浄水場

機械設備

数量計算書(Ⅰ期)

更 新 工 事

数量01
一般労務費・機械設備据付労務費集計表
〔人工集計表〕

機械設備

労務費 名称	配管工 (人)	設備 機械工 (人)	溶接工 (人)	電 工 (人)	はつり工 (人)	ダクト工 (人)	普通 作業員 (人)	技術者 (人)	機械設備 据付工 (人)	備考
機器等据付方										
鋳鉄管等据付方 (φ 350以下)										
鋳鉄管等据付方 (φ 400以上)										
鋼 管 据 付 方										
小配管据付方	16.94									
複合工・仮設工										
ダクト据付方										
電気機器据付方										
計 設計書計上数量	16.94 ↓ 16	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

一般労務費へ

↓
機械設備据付労務費へ

数量05-(2)小配管据付人工表

機械設備

口径 (mm)	3.ステンレス鋼管											
	設計 数量 (m)	屋内		設計 数量 (m)	屋外		設計 数量 (m)	埋設		設計 数量 (m)	既設錯綜	
		歩掛 (人/m)	人工 (人)		歩掛 (人/m)	人工 (人)		歩掛 (人/m)	人工 (人)		歩掛 (人/m)	人工 (人)
15A		0.17			0.13			0.07			0.22	
20A		0.20			0.16			0.09			0.26	
25A		0.24			0.19			0.11			0.31	
32A		0.29			0.23			0.12			0.37	
40A		0.35			0.28			0.15			0.45	
50A		0.42		13.20	0.33	4.35	16.20	0.19	3.07		0.54	
65A		0.53			0.42			0.21			0.68	
80A		0.63		12.00	0.50	6.00	14.70	0.24	3.52		0.81	
100A		0.78			0.62			0.35			1.01	
125A		0.96			0.76			0.45			1.24	
150A		1.14			0.91			0.54			1.48	
200A		1.50			1.20			0.75			1.95	
250A		1.86			1.48			1.00			2.41	
300A		2.22			1.77			1.27			2.88	
350A		2.58			2.20			1.50			3.35	
計	㊦			㊧	10.35		㊨	6.59		㊩		

口径 (mm)	4.塩化ビニル管											
	設計 数量 (m)	屋内		設計 数量 (m)	屋外		設計 数量 (m)	排水通気管		設計 数量 (m)	既設錯綜	
		歩掛 (人/m)	人工 (人)		歩掛 (人/m)	人工 (人)		歩掛 (人/m)	人工 (人)		歩掛 (人/m)	人工 (人)
φ 13		0.08			0.06						0.10	
φ 20		0.09			0.07						0.11	
φ 25		0.11			0.08						0.14	
φ 30		0.13			0.10						0.16	
φ 40		0.15			0.12			0.11			0.19	
φ 50		0.18			0.14			0.15			0.23	
φ 65		0.22			0.17			0.19			0.28	
φ 75		0.26			0.20			0.22			0.33	
φ 100		0.32			0.25			0.28			0.36	
φ 125		0.39			0.31			0.34			0.44	
φ 150		0.46			0.36			0.41			0.53	
φ 200								0.53			0.68	
φ 250								0.66			0.85	
φ 300								0.79			1.02	
φ 350								0.93			1.20	
計	㊭			㊮			㊯			㊰		

数量05-(3) 小配管据付人工表

機械設備

種 類 管 種	屋 内	屋 外	埋 設 又は 排水・通気管	既 設 錯 綜	配管工計
1.配管用(白・黒), 水道用鋼管	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	
2.ライニング鋼管	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ	
3.ステンレス鋼管	Ⓘ	Ⓙ10.35	Ⓚ6.59	Ⓛ	16.94
4.塩化ビニル管	Ⓜ	Ⓝ	Ⓞ	Ⓟ	
人工集計〔数量01へ〕 ←					16.94 人

数量05-1-(1) 小配管集計表

機械設備

1.直接材料表

[illegible]

数量05-1-(2) 小配管集計表

機械設備

2.配管据付工

[illegible]

数量05-1-(3) 小配管集計表

機械設備

3. 弃類材料表

[illegible]

